

2012 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” 開催される

平成24年10月6日、駒沢オリンピック公園中央広場（東京都世田谷区）において、「2012 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」が、日本獣医師会の活動方針である「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」をテーマとして、多数の来場者を得て盛大に開催された。

本行事は、第6回目を迎えるが、動物の診療だけではなく人の健康にも深くかかわる様々な仕事に取り組む獣医師の役割とともに、動物たちが担う社会的役割の多様性を広く一般に普及して理解を促進することにより、動物愛護思想の普及・啓発、人と動物が共存して生きる豊かな社会の実現に寄与することを目的に開催する公益目的事業として実施するもので、本会主催、関係省庁・獣医師関係団体等の後援、関連企業等の協賛、関連団体、獣医学系大学の協力のもと、獣医師への理解を深めてもらうよう多数の催し物を企画し、獣医学系大学学生、高校生、動物飼育者等をはじめ、多数の一般市民に会場いただいた。

当日は、開会式で、本会山根会長から、獣医師が社会生活の中で果たす職責、役割が増す中、人と動物のより良い関係の構築と獣医師の果たす役割をこの機会にさらに深く理解いただきたい旨挨拶がなされたほか、来賓である、環境副大臣、民主党犬猫等の殺処分を禁止する議員連盟事務局長、獣医師問題議員連盟副会長 生方幸夫衆議院議員、自由民主党獣医師問題議員連盟幹事長 森 英介衆議院議員、公明党獣医師問題議員懇話会会長 斉藤鉄夫衆議院議員、自由民主党 山田俊男参議院議員、自由民主党 三原じゅん子参議院議員及び公明党獣医師問題議員懇話会幹事長 高木美智代衆議院議員から祝辞が述べられた。続いて、来賓、特別協賛者等の紹介、祝電披露の後、特別ゲストの加藤夏希さんに対する一日動物親善大使任命式が行われた。さらに、放鷹義塾により、開会宣言のメッセージを携えた鷹が客席の後方から、近藤副会長のもとへ飛んで行くという演出が行われた後、近藤副会長から開会が宣言された。同時に、東京都立園芸高等学校の協力によりカウントダウンとともにステージ脇から55羽の鳩が青空へ飛び立った。引き続き、メインステージでは、テレビ放映等で子供たちに大人気のキャラクターショーとしてのペネロペコンサート、農場どないすんねん研究会とお茶の水女子大学学生サークル Ochas の協力により、獣医療提供体制整備推

進協議会主催の平成24年度獣医療提供体制整備推進総合対策事業管理獣医師の理解醸成のためのシンポジウム「食の安全を守る管理獣医師」が農場管理獣医師協会北村直人会長及び同 飯田 潔事務局長を講師に迎えて開催され、午後からは、農場どないすんねん研究会の協力による獣医師の職域紹介ステージ「知ってますか？獣医師の仕事」、セーブペットプロジェクト寄付金贈呈式、特別ゲストで一日動物親善大使の加藤夏希さんと山根会長によるスペシャルトークショー、動物看護職の役割や現状を紹介する「認定動物看護師ってなあに？」が開催された。

イベントステージでは、クイズをとおして動物について学ぶ「知っトク?! わんニャンクイズ show」（動物臨床医学研究所）、犬と飼い主の息の合ったダンスの実演「ドッグダンス」（東京都家庭動物愛護協会）、中村メイコさんをゲストに迎えてのトークショー「被災どうぶつを忘れない」（どうぶつ家族の会）、加藤夏希さんをゲストに迎えてマイクロチップの重要性を啓発する「マイクロチップを知っていますか？」（日本獣医師会）、全国の獣医学系大学の魅力を学生の視点で紹介するバラエティステージ「あにまる学園祭」（日本獣医学生協会）などのプログラムが開催された。

展示コーナーでは、本会担当の「一日獣医師体験コーナー」には、日本獣医学生協会の学生の指導による動物の健康診断に参加しようと、テント前は未来の獣医師たちで溢れ、各大学の「獣医学系大学コーナー」では、大学の担当教員が獣医師を希望する中高校生の相談に親身に応じていた。この他、パネル等を用いた各企業・団体の活動紹介、さらに「各都道府県市獣医師会コーナー」では獣医師の畜産物への関わりの解説がなされるとともに、全国の様々な畜産物を賞味しようと来場者が列をなしていた。アトラクションとしては、子供たちを対象とした「乗馬体験」（日本中央競馬会）、ウサギ、モルモット、ミニブタ等とふれあう、「動物ふれあいコーナー」（東京都立園芸高等学校）、馬の蹄鉄投げで点数を競う「蹄鉄輪投げゲーム」（日本装蹄師会）では、子供たちが笑顔で参加し、警察犬、災害救助犬の実演が行われた「働く動物たち」（ジャパンケネルクラブ）、「聴導犬のデモンストレーション」（聴導犬普及協会）、鷹匠による伝統技術デモンストレーション（放鷹義塾）、馬が音楽に合わせて演技を行う「ロングレーンダンス」（日本中央

競馬会), アジリティ教室 (ジャパンケネルクラブ) 等では, 来場者は動物たちの演技や活躍に終始感心していた。

日本獣医師会では, 今後とも, 日本獣医師会・獣医師会活動の指針の理念に基づき, 本行事等を通じた, 広く国民に対する動物との共生の重要性や獣医師の職務等の理解の醸成に努めることとしている。

以下に後援, 協賛いただいた省庁, 自治体, 企業, 団体を改めて紹介するとともに, 多くの企業・団体からの温かい支援, 全国55地方獣医師会, 地区獣医師会連合会の出展, 協賛等への協力, さらに一般社団法人日本動物看護職協会及び日本獣医学生協会のボランティアスタッフによる事業運営支援に対して改めてお礼申し上げます。

2012 動物感謝デー in JAPAN 後援・協賛・協力団体

【後援】

農林水産省, 環境省, 厚生労働省, 文部科学省, 外務省, 国土交通省観光庁, 内閣府食品安全委員会, 東京都, 世田谷区, 目黒区, 公益社団法人日本動物病院福祉協会, 公益社団法人日本獣医学会, 一般社団法人日本動物看護職協会, World Veterinary Association, ヒトと動物の関係学会, AIPO (動物ID普及推進会議)

【特別協賛】

共立製薬株式会社, 日本全薬工業株式会社, メリアル・ジャパン株式会社, ロイヤルカナン ジャボン合同会社, 日本ヒルズ・コルゲート株式会社, 一般社団法人 どうぶつ家族の会, DS ファーマアニマルヘルス株式会社, 日清ペットフード株式会社, 株式会社ペットオフィス

【協賛・協力】

日本中央競馬会, 公益財団法人 動物臨床医学研究所, 公益社団法人 Knots, 社団法人 ジャパンケネルクラブ, 社団法人 全国農業共済協会, 社団法人 中央畜産会, 社団法人 東京都家庭動物愛護協会, 社団法人 日本装蹄師会, 一般社団法人 全国ペット協会, 一般社団法人 ペットフード協会, 特定非営利活動法人 聴導犬普及協会, 特定非営利活動法人 日本ペットドッグトレーナーズ協会, 特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会, 農場どないすんねん研究会 (NDK), 狂犬病臨床研究会, 緊急災害時動物救援本部, 農場管理獣医師協会, 放鷹義塾, 学校法人 シモゾノ学園国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校, 学校法人 ヤマザキ学園ヤマザキ学園大学, 東京都立園芸高等学校, 日本獣医学生協会, 北海道大学, 帯広畜産大学, 岩手大学, 東京大学, 東京農工大学, 岐阜大学, 鳥取大学, 山口大学, 宮崎大学, 鹿児島大学, 大阪府立大学, 酪農学園大学, 北里大学, 日本獣医生命科学大学, 日本大学, 麻布大学, アクアクララ株式会社, アニコム損害保険株式会社, イオンペット株

式会社, 株式会社インターズー, 株式会社NK 総合研究所, 株式会社共立商会, 株式会社キリカン洋行, 株式会社サンダンス・リゾート, 株式会社ジェイ・エム・エス, 株式会社誠文堂新光社, 総合住宅展示場駒沢公園ハウジングギャラリー, 株式会社大地を守る会, デビフペット株式会社, Dog Life Design, 株式会社南西楽園リゾート, 日生研株式会社, バイエル薬品株式会社, パルシステム生活協同組合連合会, 株式会社パワープロジェクト, 株式会社フォトクリエイト, 富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社, 株式会社フロンティアインターナショナル, ベッツベスト少額短期保険株式会社, 平和会ペットメモリアル, 株式会社緑書房, 森久保薬品株式会社, 株式会社安田システムサービス, 株式会社損害保険ジャパン, らでいっしゅぼーや株式会社, 株式会社リロバケーションズ

【協力地方獣医師会】

社団法人 北海道獣医師会, 社団法人 青森県獣医師会, 社団法人 岩手県獣医師会, 社団法人 宮城県獣医師会, 社団法人 秋田県獣医師会, 社団法人 山形県獣医師会, 社団法人 福島県獣医師会, 社団法人 仙台市獣医師会, 公益社団法人 茨城県獣医師会, 社団法人 栃木県獣医師会, 社団法人 群馬県獣医師会, 社団法人 埼玉県獣医師会, 公益社団法人 千葉県獣医師会, 社団法人 神奈川県獣医師会, 公益社団法人 山梨県獣医師会, 社団法人 横浜市獣医師会, 社団法人 川崎市獣医師会, 公益社団法人 東京都獣医師会, 公益社団法人 新潟県獣医師会, 公益社団法人 富山県獣医師会, 公益社団法人 石川県獣医師会, 公益社団法人 福井県獣医師会, 社団法人 長野県獣医師会, 社団法人 岐阜県獣医師会, 公益社団法人 静岡県獣医師会, 公益社団法人 愛知県獣医師会, 公益社団法人 名古屋市獣医師会, 公益社団法人 三重県獣医師会, 社団法人 滋賀県獣医師会, 社団法人 京都府獣医師会, 社団法人 大阪府獣医師会, 社団法人 兵庫県獣医師会, 社団法人 奈良県獣医師会, 公益社団法人 和歌山県獣医師会, 公益社団法人 京都市獣医師会, 公益社団法人大阪市獣医師会, 公益社団法人 神戸市獣医師会, 社団法人 鳥取県獣医師会, 公益社団法人 島根県獣医師会, 社団法人 岡山県獣医師会, 社団法人 広島県獣医師会, 公益社団法人 山口県獣医師会, 公益社団法人 徳島県獣医師会, 社団法人 香川県獣医師会, 社団法人 愛媛県獣医師会, 社団法人 高知県獣医師会, 公益社団法人 福岡県獣医師会, 社団法人 佐賀県獣医師会, 公益社団法人 長崎県獣医師会, 社団法人 熊本県獣医師会, 公益社団法人 大分県獣医師会, 社団法人 宮崎県獣医師会, 社団法人 鹿児島県獣医師会, 社団法人 沖縄県獣医師会, 社団法人 北九州市獣医師会



図1 開会の挨拶をする山根会長



図5 ステージ企画「マイクロチップを知っていますか？」



図2 ゲストを一日動物親善大使に任命する藏内副会長



図6 獣医学生のアドバイスを受け一日獣医師体験する児童



図3 鷹から開会宣言を受取る近藤副会長



図7 動物ふれあいコーナーでウサギと触れ合う児童



図4 ステージ企画「知ってますか？ 獣医師の仕事」



図8 愛犬とともにアジリティ教室に参加する来場者



図9 ゲストとのスペシャルトークショーで動物について語る山根会長



図13 様々な出展内容に賑わうブース企画



図10 ミニホース馬車を体験する児童



図14 愛犬とステージ企画を楽しむ来場者



図11 蹄鉄輪投げを楽しむ児童



図15 閉会間際まで来場者で溢れる会場



図12 乗馬体験する児童



図16 近藤副会長による閉会宣言